

港湾

■2月6日:「仙台国際貿易港首都圏セミナー」開催!

首都圏セミナーとは、本県の仙台塩釜港を取巻く最新情報と、仙台塩釜港の背後圏に集積する自動車関連産業・高度電子機械関連産業等の最新の動向などについて、荷主企業、船会社等のお客様にPRするイベントです。当日は、村井宮城県知事が出席しました。

仙台塩釜港は、昨年10月に仙台塩釜港、松島港、石巻港の三港が統合一体化し、あらたにスタートしたところで、各港区の機能・役割を最大限に活用した港湾運営と効率的・効果的な整備を推進し、産業競争力の向上や観光振興が図られる様取り組んでまいります。

仙台国際貿易港首都圏セミナー

選定 種々多様な最新情報のご紹介とご説明を行います。
東日本大震災からの復興の歩みと、仙台塩釜港の発展の歴史を振り返り、今後の発展を展望していただきます。
現在、仙台塩釜港は、その背後圏に自動車関連産業や高度電子機械関連産業が集積し、今後とも成長が期待されています。仙台国際貿易港利用促進協議会は、こうした動向に対応するため、さまざまな取組を進めてまいります。
*本セミナーでは、本港を中核とした背後圏について詳細に説明いたします。下記に「仙台国際貿易港利用促進セミナー」を開催することになりました。
なお、セミナーでは大東建設株式会社様より講演を依頼する予定しております。詳しくは本港のホームページをご覧ください。開催要項につきましてはお問い合わせください。

平成25年1月21日 仙台国際貿易港利用促進協議会 会長 藤田 宏
仙台商工会議所 会長 藤田 宏
宮城県知事 村井 嘉浩
仙台市長 奥山 泰典

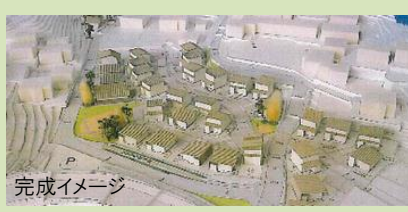
日時:平成25年2月6日(水)16:00~(受付15:00~)
会場:ホテル梅山荘東京 5階オゾン(田原山荘)
*東区東区大町12-10-8 電話 03-3943-1111

内容:第1部「セミナー」15:00~
○(仮題)「仙台塩釜港について」(宮城県土木部)
○仙台塩釜港利用企業による講演(大東建設株式会社)
○仙台塩釜港利用者による講演(塩釜港建設株式会社)
○(仮題)「宮城県の企業立地等について」(宮城県経済産業局長)

第2部「レセプション」17:40~
主催:仙台国際貿易港利用促進協議会(宮城県、仙台市、仙台商工会議所)

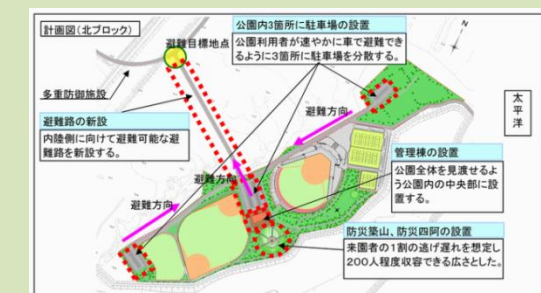
都市計画・まちづくり・住宅

■1月17日:「塩竈市伊保石地区災害公営住宅基盤整備工事安全祈願祭」を開催!



塩竈市の伊保石地区に計画されている災害公営住宅の基盤整備工事に着手したことから、工事安全祈願祭を開催しました。伊保石地区の地域特性を生かすため建物配置を工夫し、緩勾配屋根が重なり合う美しい景観を創出させます。なお、建設工事は、平成25年5月に着手を予定しております。

■1月29日:「岩沼海浜緑地復旧・復興工事着工式」を開催しました!



県内で人気の高い都市公園の一つだった岩沼海浜緑地は、震災では、高さ約10mの津波が襲来し、壊滅的な被害を受けました。震災後は、災害廃棄物(ガレキ)の仮置き場として、周辺地域の復旧に役立ち、この度、ガレキの撤去が完了したことから、復旧・復興工事に着手したものです。今回、岩沼海浜緑地は、様々な防災対策を施しました。例えば、災害時に逃げ遅れた来園者の緊急避難場所を確保するために公園中央部の築山を今回の津波到達点より高くし、頂上部を広くするなど、利用者が安全に、安心して遊べる災害に強い公園を目指して整備を進めます。

■2月6日:第4回会議みやぎ復興住宅整備推進会議を開催!

推進会議では、関係機関や住宅関連団体、業績館による情報交換・共有を図るとともに、県民や全国に向けて、先進的で魅力ある宮城の住宅・まちづくりに関する情報発信を行ってまいります。
(第1回会議~第4会議の概要については、下記URLをご参照願います。
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/fukujuu/>)

■2月14日:「南三陸町災害公営住宅整備事業着工式」開催予定!

■2月23日:「女川町出島地区震災復興事業安全祈願祭」開催予定!

■2月26日:「南三陸町防災集団移転促進事業着工式」開催予定!

~3.11伝承・減災プロジェクト~

■1月21日~2月1日:「~住宅・社会資本再生~東北復興フォーラムin宮城」に合わせて「住宅・社会資本再生・復興パネル展」を開催しました!

フォーラム開催に先駆けて開催したパネル展では、宮城県、東北地方整備局、岩手県、福島県、仙台市、南三陸町、そして、宮城県建設業協会の皆様のパネルを展示いたしました。県庁1階2階のロビーに展示したパネルは、合計約70枚以上と賑やかなものとなり、多くの方に足を止めてご覧頂きました。



■お知らせ 復興庁にて「3.11東日本大震災復旧・復興パネル展」を開催します!

○日時:平成25年2月18日(月)~平成25年2月22日(金) 9時~17時
○場所:三会堂ビル1階エントランスホール(復興庁入居ビル)
○パネル展示内容:東日本大震災から現在までの宮城県内の社会資本や水産業の復旧・復興状況について
※仙台・宮城デスティネーションキャンペーン(DC)のポスターも掲示予定

○記事に関する問い合わせ
宮城県土木部土木総務課企画調整班
H P : <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/dobokusom/>
T E L : 022-211-3108 E-mail: dobokgk1@pref.miyagi.jp



(H25.2.7 作成)

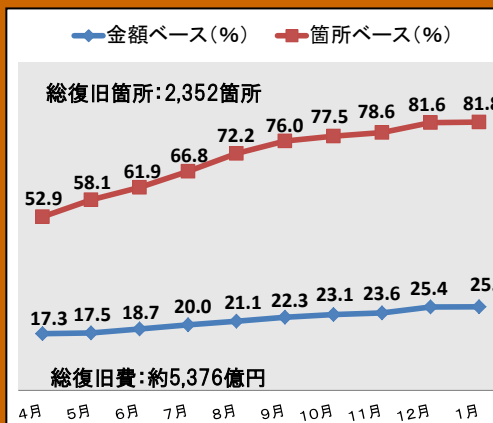
復興加速・復興実感

宮城県土木部 復興だより 【第7号】

<平成25年2月7日現在>復旧・復興の最新のニュースをお届けします!

復旧・復興事業の進捗状況

■災害復旧事業の進捗状況について(1月末現在)
○災害復旧工事の進捗状況(工事に着手した割合を着手率としています)



<公共土木施設全体の着手率の推移>

| | | | |
|-------------|-------------|------|-------------|
| 道路橋梁 | 復旧箇所1,565箇所 | 約84% | 復旧費約842億円 |
| 河川海岸施設 | 復旧箇所352箇所 | 約84% | 復旧費約3,217億円 |
| 港湾施設 | 復旧箇所292箇所 | 約60% | 復旧費約884億円 |
| 下水道 | 復旧箇所121箇所 | 約99% | 復旧費約402億円 |
| 砂防・地滑・急傾斜施設 | 復旧箇所9箇所 | 約89% | 復旧費約8億円 |

<各公共土木施設の着手率(1月末現在)>

全体・防災

■1月31日:「~住宅・社会資本再生~東北復興フォーラムin宮城」を開催しました!

宮城県は、東日本大震災の発生からまもなく2年を迎えるにあたり、宮城・東北の復興状況を内外に伝えるため、復興フォーラムを宮城県庁2階講堂で開催しました。当日は、聴講として470人以上のお客様にお越しいただきました。

第一部 <宮城県土木部技術研究発表会「東日本大震災 特別発表会」>

宮城県の復旧・復興へ向けた取組として、「災害に強いまちづくり宮城モデル」の進捗状況及び課題、災害廃棄物(ガレキ)の処理の現状、漁港の復旧状況等についてご紹介しました。また、県内の復興まちづくり事業をいち早く進める岩沼市の菅井様より防災集団移転促進事業についてご発表いただき、建設業関係者として(社)仙台建設業協会の深松副会長より、東北の復旧・復興事業を支える建設業の取組状況を震災当時の状況を交えながらお話いただきました。

第二部 <挨拶> 宮城県知事 村井嘉浩
<講演> 国土交通省東北地方整備局長 徳山 日出夫
南三陸町長 佐藤 仁
東北大学 名誉教授 首藤 伸夫
(財)国土技術研究センター理事長 大石 久和

第二部では、まず、東北地方整備局長、南三陸町長の行政のトップから、復興への考え方や取組みをご講演をいただき、発災時の初動対応から、現在復旧・復興事業を進める上での課題等を共有することができました。また、専門的、学術的な内容について、津波災害や国土政策に関する有識者からご講演をいただきました。今後の防災対策に活かすための有益な情報を共有でき、また、社会資本整備の意義を再認識することができました。



★フォーラム閉会時には、震災を後世に伝えるという意味を込めて、復興支援ソング「花は咲く」を会場の皆様と大合唱をしました。また、当日は皆川宮城県議に特別演奏にお越しいただき、サクスの演奏をしていただきました▲



第一部発表者の皆様



道路

■1月23日:大島架橋事業着工式を開催しました!

気仙沼市 二ノ浜地区での道路改良工事及びトンネル本体工事の2工事を発注し、今後工事が本格的に稼働していくことから、工事着手の祝賀と事業中の安全及び早期完成を祈念して大島架橋事業着工式を開催しました。

着工式には、来賓に谷公一復興副大臣及び気仙沼大島架橋促進期成同盟会の皆様をはじめ本事業の推進に御尽力いただいている約50名の関係者に御参席いただき、鍬入れや記念撮影を執り行いました。



○大島架橋○

気仙沼湾に位置する大島は、本土との交通機関が船のみのため、住民の日常生活の利便性向上はもとより、緊急医療などの安心安全の確保、観光振興といった観点から架橋の整備が求められていました。

また、東日本大震災の発生時には、大島の住民が孤立を余儀なくされなど、改めて大島架橋の必要性が再認識されており、災害時の緊急輸送路としての機能を向上させ、平成30年度の完成を目標に「復興のシンボル」として事業を推進しております。

(「大島かけはし」と題した情報誌を不定期で発行しておりますので、詳しくはURLをご参照ください
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/ks-doboku/o-news.html>)

■2月14日:「気仙沼唐桑線本町橋開通式」開催予定!

■3月下旬:「国道346号鹿島台バイパス開通式」開催予定!

河川・海岸

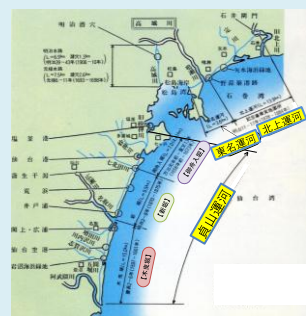
■1月27日:旧北上川河口部堤防護岸復興着工式が開催されました!

東日本大震災において、旧北上川河口部は津波等により大きな被害を受けました。また、広域地盤沈下により、高潮や降雨の際には、浸水被害が発生しているところ。これに対応するため、国土交通省では、旧北上川河口部の浸水対策として堤防護岸の施工に着手します。

この工事の完成予定は、平成27年度で、旧北上川河口部は洪水、高潮、L1津波に対応するため堤防高TP7.2mが確保されます。



■2月4日:第2回「貞山運河再生・復興ビジョン検討座談会」を開催



貞山運河、東名運河、北上運河は、阿武隈川から旧北上川まで、現存延長49kmの日本一の運河群です。

震災では、運河群でも堤防や護岸に大きな被害が生じました。県では、運河群を基軸に、沿岸地域の復興において目標とする姿を実現するための仕組みとして「貞山運河再生・復興ビジョン」を今年度中に策定することとしています。今回の検討座談会は、素案に対し、委員会の方々から様々な意見を伺いました。

下水施設

■1月25日:『仙塩浄化センター汚泥焼却施設燃焼開始式』を開催しました!

昨年末から試運転を行って来た汚泥焼却施設が稼働し、試験焼却の開始を記念して当イベントを開催しました。

現在までに処理水質は震災前の水準に復旧していますが、下水を処理する過程で発生する汚泥の処理が懸案となっていました。汚泥焼却施設の開始により、下水処理の主な機能(水質浄化、汚泥の処理)が復旧していくことで、震災前同様の安定した下水処理が可能となります。



※残る汚泥消化槽のガスホルダー等も3月中旬に復旧させる予定です。
(詳しくはURLを参照願います。 <http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/126184.pdf>)

■お知らせ:石巻東部浄化センター第3系水処理施設を再稼働!

第3系水処理施設は、当初、来年3月の稼働を目指して復旧を進めてきましたが、この度、前倒しで復旧工事が完了し、平成24年12月25日から施設を稼働しました。今回の稼働により、3系列の水処理施設のうち、今年9月の第1系に加えて、第3系においても高級処理(生物処理)が可能となりました。これにより、平常時においては、震災前と同等の水質で放流することができるようになり、生活環境のより一層の改善が図られます。



(詳しくは、URLを参照願います。 <http://www.pref.miyagi.jp/uploaded/attachment/123272.pdf>)

■3月22日:「県南浄化センター復旧完工式」開催予定!

■3月23日:「県南浄化センター桜植樹祭」開催予定!

宮城県地図(施設等位置図)



土木部は、全国31都道府県125名の自治体派遣職員の応援をいただいております

空港

■お知らせ:LCC東北初就航!

ピーチ・アビエーションによる「仙台一大阪(関西)線」が就航します。東北では初めてとなるLCC(格安航空会社)の就航で、仙台空港のさらなる利便性向上が期待されます



※LCC(格安航空会社) 低運賃を最大の特徴とする航空会社。 運航コストの低減・機内サービスの簡略化などで経費を削減。

(詳しくは、URLを参照願います。 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kohou/130121-7.html>)

■トピック:国内定期路線の便数が過去最高に!!~2013年夏ダイヤ発表~

| 路線 | (往復/日) | | |
|----------|-----------|-----------|-----------|
| | H25.1月現在 | H25.9.1時点 | 増減 |
| 札幌(新千歳) | 13 | 18 | 5 |
| 成田 | 2 | 2 | 0 |
| 小松 | 1 | 2 | 1 |
| 名古屋(中部) | 6 | 7 | 1 |
| 大阪(伊丹) | 15 | 18 | 3 |
| 大阪(関西) | 0 | 3 | 3 |
| 広島 | 1 | 2 | 1 |
| 福岡 | 6 | 8 | 2 |
| 沖縄(那覇) | 1 | 1 | 0 |
| 計 | 45 | 61 | 16 |

各航空会社より2013年夏ダイヤ期間(H25.3.31~10.26)における仙台空港発着国内線の運航計画が発表されました。計画による7路線が増便することで、仙台空港国内定期路線の往復便数は、昭和39年3月の仙台空港開港以来、過去最高となります!

【H25.1 現在】1日45往復
↓
【H25.9.1時点】1日61往復

■トピック:仙台空港利用者数が順調に回復、年末年始も絶好調!

仙台空港の利用者数も順調に回復しています。平成24年4月~12月の利用者数を震災前の平成22年4月~12月と比較すると、国内線はほぼ100%の水準まで回復、国際線についても約70%まで回復しています。

年末年始(12/28~1/3)の利用者数も、前年と比べ、国内線は127%、国際線は149%となり、大変好調でした。

| 区分 | H22年度 | H23年度 | H24年度 | H24/H23対比 | | H24/H22対比 | |
|----------|------------------|------------------|------------------|-------------|----------------|------------|-----------------|
| | | | | 比率 | 増減数 | 比率 | 増減数 |
| 国内線 | 1,973,162 | 1,240,180 | 1,950,706 | 157% | 710,526 | 99% | ▲ 22,456 |
| 国際線 | 203,633 | 32,511 | 140,809 | 433% | 108,298 | 69% | ▲ 62,824 |
| 計 | 2,176,795 | 1,272,691 | 2,091,515 | 164% | 818,824 | 96% | ▲ 85,280 |

※各年度累計(4~12月)

※資料:H22年度は国土交通省「空港管理状況調査」、H23・24年度は宮城県調べ速報値

■2月12日:「素敵☆マダムのソラ旅フェスタ」、「ソラ旅ガールズフェスタ」開催!